

2021 年度実施概要

学校名

与論町立 茶花小学校

採択活動名

ユンヌの海から世界へ

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

| 単元名 | 学年 | 教科 |
|----------------|------|------|
| 1. もっとヨロンを知ろう | 3 学年 | 海洋教育 |
| 2. 海からの贈り物 | 4 学年 | 海洋教育 |
| 3. ヨロンの海とわたしたち | 5 学年 | 海洋教育 |
| 4. ヨロンのタカラ発信 | 6 学年 | 海洋教育 |

取り組みの概要

3 年生は「海を知る」4 年生は「海に親しむ」5 年生は「海を守る」6 年生は「海を利用する」を中心テーマに、海洋教育推進協議会と連携した体験活動を位置付け、言語活動の充実を図りながら海洋教育における探究課題の開発と実践を行った。

3年「もっとヨロンを知ろう」

9 月「海の生き物の住み処を見つけよう」をテーマにコースタルビーチに出かけ、理科と海洋教育を横断的に学習した。二学期「教えてアップ・パーパー」の中で本校教諭に三線を教わったり、ゲストティーチャーにお招きして、アジニッチャー、ウプドーナタなど与論の実話や民話を教えていただいたりした。また、子供たち自身もタブレットや本などで与論の伝統や文化について調べることで、故郷与論を大切に思い、後生にも語り継いでいきたいという気持ちを高めていた。

**4年「海からのおくりもの」**

1 学期は、海での活動を通して、たくさんの生き物を観察したり、潮の満ち引きについて知ったりした。また、サンゴ観察会を通して、与論の海の素晴らしさを学ぶ機会があった。

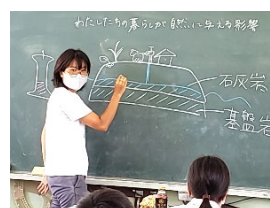
2 学期は、浜でゴミを拾ったり、貝殻などを拾ったりした。拾った貝殻などは、シークラフト製作を行った。活動を通して、与論の海を守りたいという気持ちが強くなっていった。

3 学期は、海での活動を通して、自分たちができることをグループごとに考え、まとめを行い、発表会をした。

**5年「ヨロンの海とわたしたち」**

ゲストティーチャーを迎え、「わたしたちの暮らしが自然に与える影響」について考えた。その中で、生活する上では排水やゴミなどは必ず出ることや、海で遊ぶ際にサンゴを踏んでしまったり釣りで根掛かりをして糸を切ってしまったりと、意図せず自然に悪影響を与えることがあることを改めて認識し、「わたしのエコ宣言」を考える活動をとおして自然への影響を減らす意識をもつことができた。

また、与論漁業協同組合の協力のもと、サンゴの増殖体験活動を行った。さらに、美しい与論の海を守るために自分たちができることを、グループごとにスライド等にまとめて発表し合い、お互いの取組のよさについて考えた。



6年「ヨロンのタカラ発信」

与論島の「よさ・魅力」に焦点を当て、それを様々な方法や場で発信し、よさを再確認することで、郷土に誇りをもって島だちすることをねらいとしている。見つけたよさを現地に行ってインタビューをしたり、実際に体験をしたり作製したりすることで改めて与論のよさを実感させ発信の意欲が高まった。

また、与論島の一員としての社会参画の態度も養えるようにするために、与論漁業協同組合の協力のもと、「魚のさばき方」の体験活動を行った。

さらに、与論島の「よさ・魅力」を発信するためにヨロン海洋教育フェアにおいてグループごとにアイデアを発表した。

